

## 【樹木の部屋】

### ナガバモミジイチゴ（バラ科キイチゴ属 *Rubus palmatus* var. *palmatus*）

**和名**：ナガバモミジイチゴ（長葉紅葉莓）

**別名**：キイチゴ、カナイチゴ、サガリイチゴ **英名**：Bramble

バラ目 落葉低木 **原産地**：日本、韓国、中国

**花言葉**：愛情、謙遜、尊重される **花の色**：白



← 写真-1 ナガバモミジイチゴ  
撮影日：2018年04月11日  
撮影場所：芳徳寺  
（奈良市柳生）にて  
撮影者：M さん



→ 写真-2 ナガバモミジイチゴの花・葉  
撮影日：2018年04月11日  
撮影場所：芳徳寺(奈良市柳生)にて  
撮影者：M さん

奈良市柳生の芳徳寺の柳生家墓所の近くで見かけました。足下に生育していたので、ウッカリ見落とすところでした。名前は葉の形がモミジのように裂けることからだそうですが、葉は地域・個体によって違い、カエデのように浅く裂けるか、全体に縦長な形になるなど変異が大きいそうです。生育状態等でも大きく変わり、中には裂けない葉を出す場合もあるそうです。

長乱形で互生し、中央の裂片は特に長く、先は尖ります。基部はややハート形で、縁には重鋸歯があり、葉柄や裏面の脈上には鉤形の刺があります。

根は地下で横に伸び、茎は立ち上がりますが先端では次第に横に伸び、枝を出して平面状に広がります。

花は4-5月、細い柄で下を向いた白い5弁の花を、単独で枝先につけます。初夏に実る果実はいわゆるキイチゴ状で黄色または薄いオレンジ色。ナガバモミジイチゴは数多いキイチゴのなかでも甘くて美味しいものだそうで、単にキイチゴと呼ばれることが多いそうです。雌雄同株。